

染協

2025.5-6月号

vol.354

DYEING REPORT

ニュース

CONTENTS

ファッション・トレンド

- 01 2025/26年秋冬プルミエール・ヴィジョン・パリ
一般財団法人 日本綿業振興会
ファッション・ディレクター 柳原 美紗子

Topics

- 09 職場における熱中症対策の強化について

業界VIEW

- 11 経済産業省関係 令和7年度当初予算の概要

統計

- 14 染色整理加工実績推移(数量・金額・従業者数)
15 ニッセンケンだより
16 お知らせ、主要行事、編集後記



NAGASE-OG COLORS &
CHEMICALS CO., LTD.

オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

ONCは長年に亘り染料ビジネスを通し
色の持つ力と豊かさを受け継いでまいりました。

これからも環境に適應した
カラーとケミカルで人々の暮らしに
彩りと快適をお届けします。

* 連絡先(国内)

オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

本社 〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17

<https://www.ognagase.co.jp/>

営業本部 大阪営業課 06-6535-2221 営業本部 東京営業課 03-5645-0600

営業本部 北陸営業課 0776-36-8901 営業本部 東海営業課 052-414-5174

グローバル営業部 06-6535-2221

(技術) WIT事業室 06-6379-3111 (本社) 管理部門 06-6535-2200

* 連絡先(海外グループ会社)

中国 長瀬欧積有色化学(上海)有限公司 (86)-21-5426-1812

econfidence®
from DyStar®

DyStar®

Welcome to the World
of DyStar®

自動車内装材用途シリーズ
Dianix® AM/HLAシリーズ

環境に配慮した製品サービスの提供

Committed to Sustainability

ダイスタージャパン株式会社

本社 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20

セールスラボ 〒836-0017 福岡県大牟田市新開町2-65

大牟田工場 〒836-0017 福岡県大牟田市新開町2-65

TEL. (06) 6263-6670

TEL. (0944) 57-4144

TEL. (0944) 57-4131

www.DyStar.com

 DyStar, econfidence and Dianix are registered
trademarks of DyStar Colours Distribution GmbH
Copyright of the material in this advertisement is
owned by, or licensed to, DyStar.

ファッション・トレンド

2025/26年秋冬 プルミエール・ヴィジョン・パリ

一般財団法人日本綿業振興会
ファッション・ディレクター 柳原 美紗子

2025/26年秋冬プルミエール・ヴィジョン(PV)パリは、2024年7月2日〜4日にパリ・ノール見本市会場にて開催された。パリ五輪直前のタイミングにより、多くの企業が混乱を懸念して出展を取りやめた結果、出展社数は前年同期比約30%減の40カ国937社に留まり、会場もこれまでの4ホールから2ホールに規模が縮小された。来場者も115カ国から約8,000人と、初めて人数カウントから会社数カウントでの発表に変更された。

運営体制も変わり、GLEIBENTZ社のフロランス・ルツソン氏が新CEOに就任した。ルツソン氏は新たにマッチメイキングプログラムを導入し、230人のトップバイヤーと1,500件のマッチングに成功するなど、業界の成長促進に意欲を見せた。

「トレンドコンセプトは「エクストリーム」

今季、発表されたトレンドコンセプトは、「エクストリーム(極端)」。現代社会では、戦争やテロ対策、安全保障、環境問題といった極端な事象が、「コントラスト」をより鮮明に浮かび上がらせている。

ファッション市場においても、持続可能性や技術革新の追求と、新しさやファンタジーへの欲求との間で緊張が生じており、責任ある消費としての品質の追求と、目を惹く存在感を求める欲望が交錯するという矛盾が特徴的だ。

こうした相反する要素が共存するシーズンにおいて、これまで「サステナブル」と「ファッション」は別々に考えられがちだったが、今後の鍵となるのは共生と共鳴。「ダブルバリュー(2つの価値)」という概念が定着しつつあ

り、サステナブルでありながらクリエイティブであること、人々の心を豊かにするファッションの魅力や新しさを、環境配慮と両立させることが求められるている。



「エクストリーム」に基づく3つのテーマ

1. 卓越したミニマリズム Minimalist Excellence

ファッション市場では、簡素化と豪華さの二極化が進んでいる。選択肢の豊富さが飽和感を生み、整理することへの欲求を高めているのだ。ミニマリズムは単なるシンプルさではなく、技術とノウハウを要する洗練された表現であり、一方で豊かさは品質へのこだわりを強調する。

このテーマは、ミニマリズムを贅沢の新たな形と捉え、

過剰な時代に調和をもたらすことを目指す。エレガントでシックなファッションを追求しながら、素材の品質や柔らかさを重視し、新たな豊かさや機能的なシンプルさを融合させるスタイルが求められている。

2. 誰もが楽しめる華やかさ

Inclusive Extravagance

リサイクルやアップサイクル、古着の需要の高まりを背景に、世代や文化を超えた影響が交差し、新しい多様性と華やかさが生まれている。

異なる時代や文化のコードが融合し、固定観念に縛られない、独自の美的スタイルが形成されつつある。画一性や陳腐さから脱却し、自由で想像力に満ちた創造的な空間を求めるトレンドが加速。ルールや制約を超えた新たなファッションの可能性が広がっている。

3. 感覚の表現力 Sensual Expressivity

身体は多様な個性を持ち、柔らかさから力強さ、控えめな魅力から挑発的な美しさまで、無限の表現が可能だ。衣服は単に体を覆うものではなく、その多様な表現を映し出すツールとなる。

伸縮性や透明感のあるランジェリーライクな素材が鍵となり、シルクのような滑らかさやカジュアルなドレープが、快適な着心地とエレガ

ンスを同時に提供。感覚的な豊かさを強調しながら、身体と調和するデザインが求められている。

カラートレンド

≪カラーテーマ「コントラスト」

2025 / 26年秋冬シーズンのトレンドカラーは、「コントラ

スト」。色彩の多様性と対比の力を最大限に活かし、対立する要素の調和を表現するカラーパレットが展開される。現実と幻想、快適さと躍動感といった二極の間で生まれるダイナミックな色の遊びが特徴的だ。



キーカラーは、以下の3色。

- フォッシュルブルー（ネイビーとグレーの中間）
- ダークプラム（鮮やかな赤と沈んだ赤の間）
- モーブネオン（夏と冬の狭間を象徴するトーン）

これらのカラーを軸に、ブルー、ブラウン、パープル、グリーンを基調としたパレットが構成さ

れ、力強い色彩と柔らかいトーンが巧みに融合。各色の深みと豊かさが引き立てられている。

さらに、ややグレーがかったニュアンスは、リサイクルやウォッシュ加工、パティナ（古色）など、サステナブルな技術の進化を反映。また、ダークトーンは時間とともに一層の深みを増し、その魅力を持続させる。



≪カラーハーモニー

1. マルティプル・コントラスト

Multiple Contrast

今季は、対照的な要素が際立つシーズンである。多様なカラーバリエーションを駆使したパレットは、対極の共存を追求し、色の対立を洗練された形で再解釈している。現実と非現実、快適さとダイナミズムといったカ



ラフルなコントラストが、多様な用途に適應する新たな可能性を広げている。

● ブラック&ホワイト

クラシックな黒と白のコントラストは、今シーズンの色調を際立たせ、テクスチャーや光沢の組み合わせによって新たな表現へと昇華されている。幾何学模様動きと力強さが増し、抽象的な表現へと進化。黒と白のモチーフは、予測不能かつ生命力に満ち、クラシックな水玉やゼブラ柄に新たな変化をもたらしている。ツイル素材や、ミクロジャカードのレース、刺繍が用いられ、抽象的な振動を生み出し、大胆な黒と白の対比を一層強調している。

● コントラストの明暗効果(キアロスクーロ)

黒と白は、色彩と対話しながら、カラフルなバージョンでも表現され、キアロスクーロ(明暗効果)に新たな解釈を加えている。暗い色がリズムミカルな模様を作り出し、淡い色が表面を覆いながらテクスチャー効果を際立たせている。洗練されたヴィンテージ感が漂い、不規則な色調の仕上げが奥行きを演出。色付きワックスの加工や段階的な擦れた効果により、表面の粒子が強調され、立体感が増している。プレタポルテ(既製服)向けのラムスキンは黒く染められ、通常は革製品に施されるパティナー(風合い)加工が加えられた。

● 暖色/寒色のコントラスト

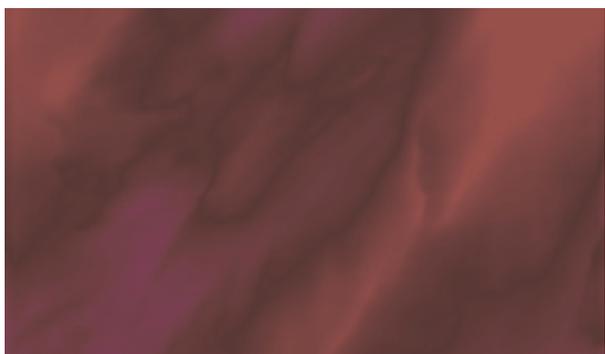
ビビッドな暖色と寒色のコントラストは白によって際立ち、時折、色の斑点や予期せぬ輝きがアクセントとなる。マルチカラーフロックのウール糸や、複数の糸を絡めたヤーンによって、鮮やかなコントラストが繊細に表現されている。

2. センサリー・オプジュランス

Sensory Opulence

今シーズンの

テーマは、抑制と華麗さのバランスに焦点を当てている。過度な装飾ではなく、贅沢さは素材の官能的な質感や手触り、表面の仕上げに表れている。素材本来の高級感と気品が、深みのあるカラースキームや色の重なりによってさらに強調されている。厳選されたエレガンスが、品質を基盤とし、豊かさと感じの魅力を融合させている。



● フォーエバー・レッド

赤は今シーズン、さらなる鮮やかさでその存在感を取り戻している。暗めでくすんだ赤からオレンジがかった赤まで、全体的に明るく、ドラマチックな視覚効果を生み出す色調が特徴である。単なる一色ではなく、質感や光沢、透明感が加わり、立体的な印象を与える。レースや刺繍、ジャカードによって、赤のニュアンスが広がり、触感の豊かさが強調されている。

● ヴィンテージの華やかさ

レトロなパレットは、深みのある暖色調と柔らかなメタリックの輝きが際立つ。金、銀、銅の微妙な光沢が、控えめながらも洗練されたグラマラスな雰囲気演出。コーティングやラミネート、メタリックな素材が、鉱物のような反射を持ち、落ち着いた輝きを表現している。

● 控えめなメタリック

光沢の経年変化を表現し、控えめな華やかさへと移行している。暗いトーン・オン・トーンに溶け込むメタリック効果が特徴で、シルクやジャカードのベースに微細な反射や質感が加えられている。鉱石が半暗がりの中で輝くような、流動的で虹色の煌めきを放つ仕上げりとなっている。

3. ポスト・ロマンティック Post Romantic

今シーズンのファッションは、極上の柔らかさと自信に満ちた官能性を軸に、新たなロマンティシズムを解釈している。色の組み合わせは繊細に調整され、鋭いコントラストは避け、段階的な重なりや繊細な幾何学模様によって表現されている。



● 柔らかなニュートラル

ニュートラルカラーは繊細な素材や仕上げと組み合わせられ、優雅な調和を生み出している。淡いピンクは、カーキやサンドカラー、オーカーと組み合わせることで、洗練されたロマンスを演出。フローラルモチーフは時折ほやけ、抽象的な表現となり、儚さを際立たせている。

● フェイド・ロマンス

ピンクやオレンジがかった色調と、グレーがかったパステルが組み合わせられ、無垢ではない

繊細な美しさを表現。煙のような色彩がフローラルパレットを作り上げ、レースや刺繍、シルクといった高級素材と調和している。

● 儚いグリーン

鉱物色と組み合わせられたグリーンは、より上品な光沢を帯び、緻密な刺繍やハイテクなパーカーに適應する。カモフラージュデザインには、貴重なひび割れ効果や部分的なフロッキングが施され、独特の奥行きをもたらしている。

4. ヴィジブル・パスト Visible Past

時の流れが生んだ美しさが、今シーズンの重要な要素となる。持続可能性を考慮し、色褪せや擦れ、シミのような効果が、素材の価値を新たに引き出している。

● 変化した

ニュートラル



ナチュラルカラーやブラウン、グレー、ベージュの組み合わせが、より大胆なコントラストとともに登場。異なる二色のひび割れ効果や曇りがかったメタリック装飾が、洗練されたレザー製品や既製服に活かされている。

ファブリックトレンド

サステナビリティが インスピレーションの源に

今シーズン、サステナビリティをテーマにしたデザインが積極的に採用されている。しかし、もはや中途半端な取り組みや表面的な善意では不十分だ。求められているのは、明確で徹底的に考え抜かれたアプローチである。



● トレーサビリティとシンプルな美学

トレーサビリティの面では、消費者にとって理解しやすいプロセスを目指し、余計な装飾や無駄なファンタジーを排除。完璧なシンプルさ、優れた品質、密度、そして機械的な仕上げに焦点が当てられている。意識的な消費者が選ばれている。より透明性の高い仕組みが整えられている。

● エコデザインの最前線：廃棄物と代替繊維の革新

エコデザインの最前線では、廃棄物や代替繊維、リサイクル素材の新たな活用がブームとなっている。過去の教訓と最先端技術を融合させ、境界や制約にとらわれない自由な創造的表現が展開されている。

今シーズンは、サステナブルなファブリックを主軸としつつ、その対極にある装飾的でファンシーなファブリックが、創造性と技術の限界に挑戦する場となっている。メーカー各社はエコデザインを単なるトレンドではなく、本質的なインスピレーションの源と捉え、その姿勢を貫いている。

これからのサステナビリティには、曖昧な取り組みではなく、確固たるビジョンと実践が不可欠だ。時代の最前線を担うデザイナーたちは、新たな技術と持続可能な素材を駆使し、規範にとらわれない創造的な未来を切り拓いている。

≡ ファブリックハイライト

無地系と装飾系に分けて、注目素材を紹介する。

〈無地系 ファブリックハイライト〉

大きく次の3つのテーマが浮上している。

1. 密度 Density

糸が細くなるにつれ、織りの密度が増し、質感にも変化が生じる。厚みがありながら柔軟で、扱いにくい素材がもたらす豊かで丸みを帯びた感触が特徴である。

ふつくらとしたボリュームや気品あるドレープを形成し、最終仕上げとしてカレン



ダー加工、ラッカー加工、マーセライズ加工が施されることで、滑らかで一体感のある、しっかりと安定した表面へと磨きがかけられる。密度の高い生地は、現代的なエレガンスを体现するミニマルな贅沢の象徴である。

2. 時の流れ Passage of Time

ゆつたりとした時の流れに敬意を表し、不完全さから生まれる創意工夫を称えるシーズンである。今回のファブリックは、それぞれが終わりのない物語を語る。すべてがリサイクルされ、形を変え、再考され、あらゆるものに新たな価値が見出される世界が描かれている。しわや凸

凹した表面には温もりが宿り、褪せた色には虹色の輝きが、傷や擦れには豊かな感情が込められている。これらの要素が多様なインスピレーションを生み、しなやかな回復力を促進する。

3. 日常を解放する Liberate our Everyday

パジャマやスウェット、下着といった快適なアイテムは、もはや生活に欠かせない存在となっている。しかし、ファッションはこれらの要素をさらに洗練し、気品と高機能を兼ね備えたエコデザインへと昇華させる。今シーズンは、居心地の良さと贅沢さ、実用性とエレガンスが融合する時代である。組み合わせの洗練度が増し、柔らかさや快適性、体温調整機



能が向上。新たな定番アイテムとして、私たちの身体的、精神的、そして社会的な健康を支える。今こそ、日常を解放する時である。

〈装飾系 ファブリックハイライト〉

今シーズンの装飾は、創造性と技術の限界にさらに挑戦している。生地は大胆な芸術表現を通じて新たな美的感覚を生み出し、異なる世界観やコントラストを楽しむデザインを促進している。25/26年秋冬の装飾は、細部まで緻密にデザインされ、スタイリッシュなパドックスを創出している。

装飾系ファブリックのハイライトとして、次の3つのテーマが浮上している。

1. 贅沢なミニマリズム

Luxurious Minimalism

今シーズン、主要なテーマとなっているのが「贅沢なミニマリズム」である。シンプルで幾何学的なラインを持ち、洗練された高品質な生地を用いたデザインが際立っている。純粹さを追求する一方で、豪華さへの欲求が交錯し、二つの対照的な方向性が共存している。

過剰な時代において、本質への回帰、簡素化と整理が求められ、控えめで整然としたテキスタイル構造が表現されている。繊細なラインや格子模様、チエツカーボードパターンが、フェ

イクファーや刺繍入りチユール、ジャカード、ニット、反射プリントに施され、繊細ながらも確かな存在感を示している。

透明感のある素材は彫刻的な要素を帯び、半透明の生地には新たな硬さが加わり、建築的かつ保護的なポリウムを形成している。透明感は何学模様や繊細なラインで特徴づけられ、控えめなデザインが意識されている。ジャカードクロッケ、モールドプリーツチユール、オーガンザ、透明ニット、刺繍、レーザーカットなどの技法が用いられ、控えめな贅沢さ、貴重さ、卓越性を表現している。「贅沢なミニマリズム」は、プリントや刺繍、レース、ジャカードといった要素の融合を通じて、新たなスタイルを提示している。



2. 異なるスタイルと豪華さの融合

Fusion of Styles and Extravagance

25/26年秋冬のテキスタイルは、贅沢さを受

け入れつつ卓越性を追求し、ファッションコードを自由に組み合わせることで、美的な限界に挑戦している。

ミニマリズムの洗練と並行して、今シーズンは贅沢で包括的なアプローチが見られる。女性的なものや男性的なもの、さらには世代の境界を曖昧にし、過去や伝統を新たな創造の源として再解釈している。

このトレンドは、セカンドハンドやアップサイクリングの影響により、織物の豊かな伝統への関心を再び呼び起こしている。色や技術、パターン、テクスチャーが交互に現れ、スケールが拡大し、フリンジが長くなることで、よりダイナミックな印象を与えている。

ジャカードやプリントには、オーバーサイズのパターンやモチーフ、グラフィック要素が融合し、マットと光沢のコントラストが際立っている。クラシックなチエツク柄はXXLサイズに拡大され、ほやけたり力オス的に乱れたりすることで、伝統と



前衛の交錯を体現している。ジャカード、モヘア、コーデュロイ、フロック加工、過剰な刺繍といった多様な技法が駆使されている。

光沢は流動的かつダイナミックであり、モアしや多色使いが特徴となっている。北極光を思わせる色合いが取り入れられ、刺繍やカットヤーン、フリンジジャカードには金の要素が加わることで、贅沢さを存分に誇示する表現が生み出されている。

贅沢な要素は、豪華なフェイクファーやカットヤーンジャカード、フリンジ刺繍にも表れ、毛皮のような外観がモチーフとして用いられている。長さや光沢、テクスチャーを駆使することで、贅沢さの新たな表現が追求されている。

3. 装いを一段と引き立てる使込まれた美 Elevating the Look of Wear

ファッション業界がサステナビリティの課題に取り組む中、製品の長寿命が重要な要素となっている。生地耐久性のみならず、視覚的魅力もまた、衣類が時間とともにどのように美しくさを維持するかにおいて大きな役割を果たす。使込まれた痕跡すらも、美的価値として再評価されている。

生地に「使込まれた」印象を与えるために、無地の生地は優しく色あせ、デニムやカジュアルコットンには微妙で意図的なムラ洗いが施さ

れている。ムラ染めはコットンニットにヴィンテージ感を与え、流動的な生地にはプリントによって着用の痕跡が模倣されている。

シルキー素材には、ダメージ効果を強調したジャカードが施

され、繰り返し修理された織物の不完全さが表現されている。カットヤーンはほつれた生地を想起させ、ランダムなフリンジがシルキー素材の表面に浮かび上がることで、偶然性を伴う装飾的效果を生み出している。

使込まれた風合いの変容美は、生地の表面に現れている。頻繁に擦られたかのようなわずかな光沢が、シックなコットンやスーツ地に染み込み、ウールは洗濯後にアイロンがけを省略したような、ナチュラルなしわ感を持つ。シルキー素材やシャツ地にはしわ加工が施され、動きのある表情を加えている。

また、軽く波打つテクスチャーが、テクニカルなテキスタイルの滑らかさを崩し、風通しの良いアウトターに活気を与えている。しわ感のあ



るテクスチャーが豊富に用いられ、均一にリブの効いた生地に変化を加え、冬のファッションにシアツーカー効果を再導入している。

時間の経過とともに色あせながらも深みを増す色合いを選び、経年変化の美しさを備えた素材を開発し、時を超えて魅力を保つデザインを生み出すことで、ファブリックデザイナーたちは衣類の長寿命に対する創造的な挑戦を続けている。

≪ファブリックのキー・ポイント

●プレシャス・ミニマリズム

過剰な時代に求められるのは、本質への回帰と簡素化、整理整頓である。現代的エレガンスとミニマリズムを融合させた贅沢が見直されている。シンプルで洗練された上質感と機能性を兼ね備えたデザインが浮上し、整然とした控えめなテキスタイル構造が際立つ。細い線や格子、チエツカーボードといったパターンが繊細に描き出される。

●英国の伝統美…ツイード再発見

基本に立ち返り、英国海峡の向こう側のルーツと再びつながるツイードが再発見されている。苔のような色合い、ほやけた印象、さらにカラーミックス効果を持ち、素朴さが際立つ。ブークレやノツプヤーンに不規則性を持たせることで、

微妙に柔らかく仕上げられている。

● 輝きと洗練が融合するテーラリング

テーラリングでは、堅苦しさとりラックス感の両方を楽しめるスーツ生地は光の要素が映える。磨かれた光沢や控えめな輝きが伝統的な仕立てに洗練を加え、梳毛ツイルはシルクのような艶を放つ。斑点やノツプドが施されたラフな生地には、予期せぬ輝きやラメが散りばめられ、クラシックな雰囲気にとりすぎない魅力が加わっている。

● 動きのあるシルキーな光沢

シルキーは「動き」をテーマに、高貴な曲線やドレープが新たな美を演出している。ダブルサテンや厚みのあるミカドは波のように流れ落ち、彫刻的な仕立てが生地の密度を強調する。さらに、軽やかなジャージーやカシミアが優雅な感触を提供。光沢も流動的で、モアレやオーロラの光を思わせる色調や、金で装飾された豪華なデザインも見られる。

● 透明感と繊細な立体美

透明感のある素材はさらに立体的かつ彫刻的に進化している。半透明の生地は新たな硬さを持ち、構築的なボリュームを生み出している。透明感は植物や幾何学模様の繊細なラインで際立ち、控えめなデザインが意識されている。ジャ

カード、クロツケ、オーガンジー、レース、刺繍、レーザーカットなどが上品で贅沢な質感と高度な技術を表現している。

● 毛羽立つ素材は「エコ」がキー

身体を包み込む長い毛足から微起毛シャツ地まで、ふんわりとした毛羽立つ素材への関心が高まっている。ウールにはセーブルのような光沢やアストラカン風の波模様が見られ、ベルベツト、コーデウロイ、モールスキン、ピーチ、裏毛、パイルなどのウインターコットンが復活している。いずれも「エコ」であることが重要なポイントとなっている。

● 時を重ねる美学

時の経過を反映したデザインも注目されている。スローライフを背景に、不完全さからインスパイアされたファブリックが登場している。シワや穴開き、傷跡が温かみを醸し出し、ダメージや修繕加工、ほつれを表現するカットヤーンが目を引く。特にシワ感は豊富で、冬物にシアサッカー効果が再導入されている。

● デニム…新たな地平を求めて

職人技の織りやウォッシュ加工、ディストレス効果、レザー風、オーバーサイズのシルエツトやスポーツウエアとの融合などが見られ、次なるステージを切り開くシーズンである。ツイ

ルの代替としてマイクロバージョンのファンシー織りも登場しており、光沢やシャープな質感も加わり、環境にも配慮したデザインが展開されている。

● オーバーサイズのインパクトあるパターン

オケージョン需要の回復に伴い、華やかな素材への関心が高まっている。ジャカードやプリントでは、オーバーサイズのモチーフにグラフィックコードが融合したインパクトのあるパターンが好評である。クラシックなチェックもXXLサイズに拡大され、ぼやけた表現やオース的な乱れが加わっている。

● プリントデザイン…自然と伝統の交差点

自然や文化に着想を得たグラフィックが主流となり、対立する視点が交差する中で新たな創造性が生まれている。浮上する二つのテーマのうち、一つは植物をモチーフにした抽象的デザインである。暗闇から浮かび上がる幻想的な植物や、透明感のある柔らかな重ね描きが特徴で、自然を詩的かつ象徴的に表現している。一見穏やかに見えるモチーフだが、その中に予期しない深みを感じられる。もう一つのテーマは、伝統とフォークロアを融合させた多彩なデザインであり、バロック的な豪華さやノスタルジックな花柄プリントが華やかさを演出している。

令和7年6月1日に
改正労働安全衛生規則が
施行されます

職場における 熱中症対策の強化について

熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において

**死亡に至させない
(重篤化させない)ための
適切な対策の実施が必要。**

基本的な考え方



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられます。

1 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ確かな判断が可能となるよう、
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業員への周知

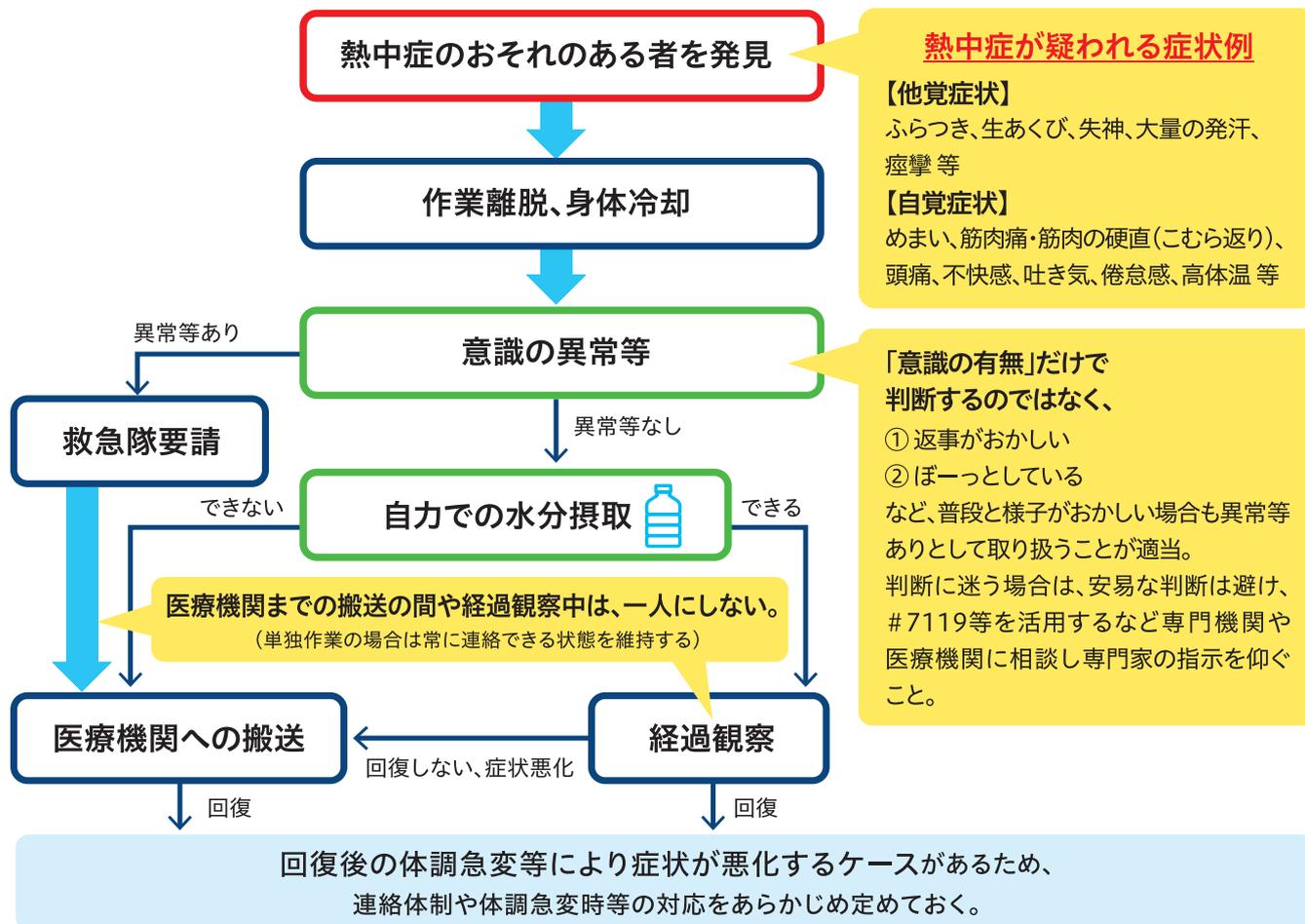
対象となるのは

**「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業**

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとする。

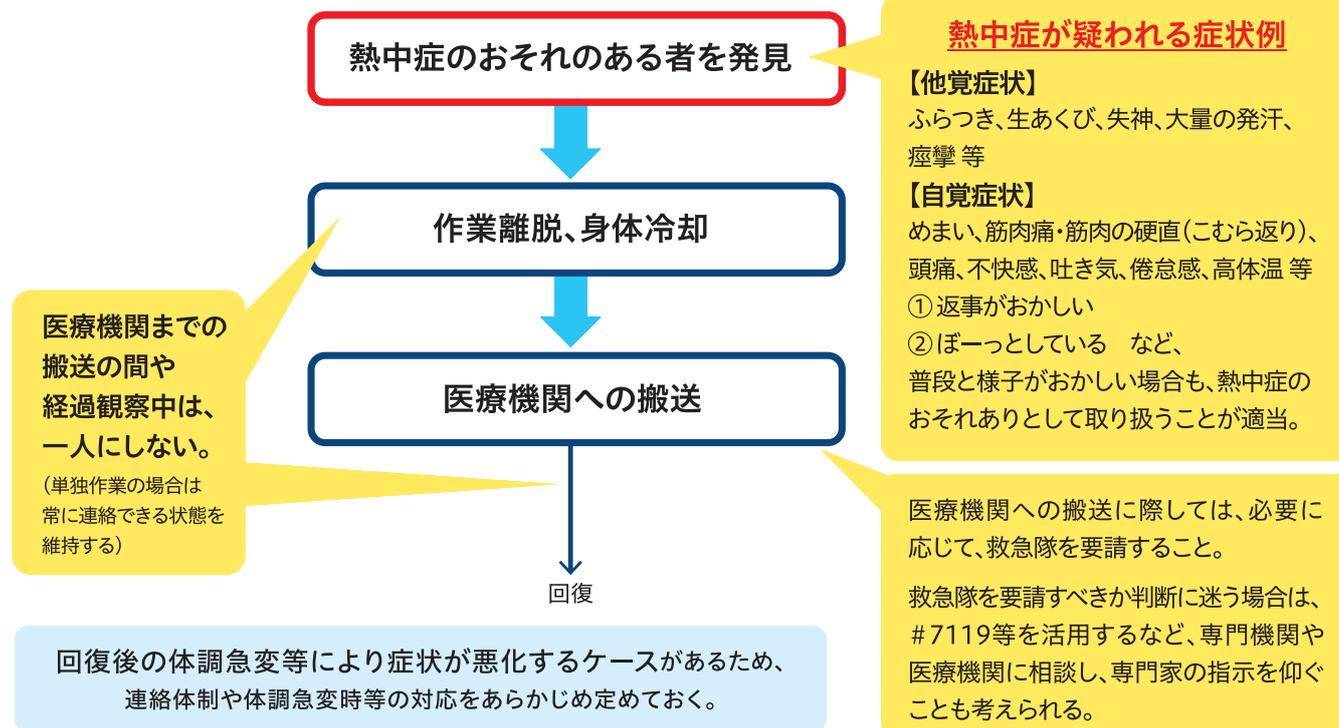
熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



経済産業省関係 令和7年度当初予算の概要

「令和7年度経済産業省関連予算等の概要」から、繊維関連を中心に代表的なものをピックアップしました。

詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

令和7年度経済産業省関連予算等の概要 (METI/経済産業省)

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2025/index.html

(1) 国内投資拡大の継続・対日投資の拡大

① GX・脱炭素エネルギー 【当初1兆28億円(9,644億円)】(補正3,194億円)

- GX2040ビジョン及びエネルギー基本計画の改定に際して、エネルギーの価格上昇リスクや供給途絶リスクに対応し、貿易収支の悪化から脱却するため、GX・省エネ投資の推進に加え、再エネ、原子力など、エネルギー自給率向上に資する脱炭素エネルギーの供給を拡大するための事業環境整備や、産業分野の現実的な形での燃料転換の支援、火力の脱炭素化、LNG等の安定供給確保、低炭素水素等(アンモニア、合成メタン、合成燃料を含む)・CCUSなどの新たな脱炭素技術の社会実装・サプライチェーン構築等を推進する。

i) GX・省エネ投資の推進

- **当初** **補正** 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金 【当初760億円】**【補正300億円】**(GX)
- **当初** **補正** 中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費 【当初6.1億円(10億円)】**【補正34億円】**(エネ特)
- **補正** 省エネルギー投資促進支援事業費補助金 【300億円】(エネ特)
- **補正** 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金 【580億円】(GX)

ii) 再エネ、原子力など、脱炭素エネルギーの供給拡大

- **当初** GXサプライチェーン構築支援事業 【610億円(548億円)】(GX)
- **当初** 太陽光発電大量導入への課題解決に向けた技術開発事業 【32億円(32億円)】(エネ特)
- **当初** 需要家主導型太陽光発電及び再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業 【98億円(100億円)】(エネ特)
- **当初** 再生可能エネルギー導入拡大に向けた系統用蓄電池等の電力貯蔵システム導入支援事業 【150億円(85億円)】(GX)

iii) 産業分野の現実的な形での燃料転換の支援

- **当初** 排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業 【256億円(327億円)】(GX)
- **当初** **補正** 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金 【当初760億円】**【補正300億円】**(GX)(再掲)

② デジタル基盤技術・自動車・バイオ産業 【当初3,818億円(2,908億円)】(補正1兆8,092億円)

- 半導体サプライチェーン強靱化に向けて、国内生産拠点の整備や研究開発の支援、各地域での工業用水等の基盤インフラの有効活用・整備・強靱化を進める。
- 電動車普及に向けた車両購入・インフラ整備や、蓄電池の製造基盤の確立、次世代電池の実用化に向けて必要な支援を行う。
- バイオ医薬品や再生・細胞・遺伝子治療分野の支援を進める。

③ 対日投資促進 【当初307億円(314億円)】

- イノベーション・地域活性化に資する対日投資案件の誘致、高度外国人材の受入や海外企業との協業連携を促進する。

(2) イノベーション・新陳代謝の加速

(2-1) 世界との勝負(世界の創造拠点)

- イノベーションエコシステムの構築、AI等活用に向けた事業環境の整備 【当初1,592億円(1,610億円)】(補正1,837億円)
- 先端領域におけるイノベーションを促進するため、フロンティア技術の探索・育成の重点的な支援を通じて技術インテリジェンスを強化し、国際的なルールメイキングに取り組むとともに、バイオ、量子、次世代航空機、宇宙等への支援に取り組む。

- グローバルに活躍するスタートアップ等を創出するために、グローステージの成長支援強化、国の研究開発予算におけるスタートアップ支援のポートフォリオ拡大、スタートアップ等が大きく成長できるための市場環境整備を進める。
- 補正** ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 【76億円】
- 補正** スタートアップのグローバル化強化事業 【44億円】
- 補正** 地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業 【30億円】
- AIの性能向上やコンピューティングパワーの形成に向けて、計算資源の高効率化等の研究開発を進めながら、国内外の優れた企業・人材によるイノベーションを促す。
- モビリティ DX戦略に基づき、SDVの普及等モビリティ DXを推進する。
- デジタルによる新たな価値創造を促進するため、産学官が連携して、企業や業界、国境を横断したデータ連携の実現を目指す「ウラノス・エコシステム」を推進する。
- グローバル市場の形成・獲得** 【当初1,400億円(1,418億円)】(補正1,027億円)
- グローバルサウスとの経済連携強化を図るべく、日本企業と現地企業の強靱なサプライチェーンの構築や、カーボンニュートラル等を共に実現する事業等の支援を行うとともに、貿易保険事業のリスク対応能力の強化等に取り組む。また、貿易プラットフォームの活用・データの標準化等による貿易DX推進にも取り組む。
- GX投資促進策の協調等による、特定の国に過度に依存しない、同志国とのGXサプライチェーンの構築、AZECのさらなる具体化を進める。
- サーキュラーエコノミーの実現(再生材利用拡大と、製品の効率的利用等を促す動静脈連携のための制度検討や支援)に取り組む。

(2-2) 生活の質を高める(ヘルスケアスタートアップ支援、クリエイター育成等)

【当初85億円(76億円)】(補正1,400億円)

- ヘルスケアスタートアップの支援を通じた新たなビジネスの創出、介護需要の多様な受け皿整備、ヘルスケアの国際展開(アウトバウンド・インバウンド)を促進する仕組みの構築を進める。
- クリエイティブ産業の振興に向けて、正規流通支援、模倣品対策、海外現地拠点等を活用した戦略的海外展開を促進する。
- 知財を活用した中小企業等の稼ぐ力を向上すべく、「知財経営支援ネットワーク」を活用し、地域の知財エコシステムの構築を進める。

(3) 国民の所得向上【当初1,155億円(1,112億円)】(補正3,632億円)

- 地域の中堅・中小企業・小規模事業者の発展を支えるとともに、賃上げや働き方改革による良質な雇用を実現できる地域の中堅・中小企業・小規模事業者を育成し、更なる成長軌道に乗せる。
- 地域経済を牽引する中堅企業に関するビジョンの策定や、売上100億円以上への成長を目指す中小企業の成長支援、広域連携を含む経営支援体制の構築、設備投資や海外展開、フェーズに応じた事業再生等の支援、事業承継・M&Aの促進、ゼブラ企業の創出・育成に取り組む。
- ロボット等の活用推進等を含め、人手不足等の供給制約へのさらなる対応を推進する。
- 当初** 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業) 【123億円(128億円)】
- 当初** 中小企業資金繰り支援事業 【223億円(192億円)】
- 当初** **補正** 中小企業活性化・事業承継総合支援事業 【当初144億円(146億円)】【補正61億円】
- 当初** 小規模事業者対策推進等事業 【61億円の内数(54億円の内数)】
- 当初** **補正** 地方公共団体による小規模事業者支援推進事業 【当初10億円(11億円)】【補正10億円】
- 当初** 中堅・中核企業の経営力強化支援・地域の人事部支援事業 【8億円(11億円)】
- 当初** **補正** 中堅・中小企業の賃上げに向けた省人化等の大規模成長投資補助金
【当初8.7億円】【補正1,400億円】※国庫債務負担行為を含め3,000億円規模
- 当初** 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業 【34億円の内数(35億円の内数)】
- 当初** 海外ビジネス強化促進事業 【28億円(新規)】
- 当初** 中小企業等海外展開支援事業 【11億円(8.4億円)】(特許特)(再掲)
- 当初** 中小企業実態調査事業 【21億円(22億円)】
- 当初** デジタル・ロボットシステム技術基盤構築事業 【2.3億円(新規)】
- 当初** 独立行政法人中小企業基盤整備機構運営費交付金 【184億円(220億円)】

補正 中小企業生産性革命推進事業 【3,400億円】

補正 事業環境変化対応型支援事業 【112億円】

●価格交渉促進月間の実施とその後のフォローアップ調査などの予算事業に加えて、下請代金法の執行の強化（公取委・事業所管省庁との執行連携等）、官公需等における労務費等の価格転嫁の徹底等による価格転嫁の強化策を推進する。

当初 **補正** 中小企業取引対策事業 【当初29億円（28億円）】 **補正**8.3億円】

●デジタル人材育成を推進するため、個人のデジタルスキル情報の蓄積・可視化を通じてデジタル技術についての継続的な学びの実現、スキル情報の労働市場での活用等を進める。

当初 地域デジタル人材育成・確保推進事業 【8.6億円（6.6億円）】

補正 デジタル人材育成エコシステム構築事業 【21億円】

（4）GXの実現とエネルギー安定供給の確保

（1）（2）で詳述のため省略。

（5）経済安全保障の確保【当初73億円（62億円）】（補正2,916億円）

●我が国の産業・技術基盤を維持・発展させるため、サイバー対処能力の向上やセキュアなソフトウェア・IoT機器の流通促進等によるサプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ対策の強化、脅威・リスク分析のための体制構築、新たな貿易管理における枠組みを含む技術管理対策の強化、技術優位性獲得に向けた投資支援、セキュリティ・クリアランス制度を活用した産業界・主要国との戦略的な連携を行う。

当初 産業サイバーセキュリティ対策の強化に向けた環境整備事業 【54億円（44億円）】

当初 重要技術総合管理事業 【19億円（17億円）】

補正 重要経済安保情報保護活用法の施行に向けた民間企業等の体制構築等事業 【16億円】

（6）大阪・関西万博【当初27億円（24億円）】（補正511億円）

●大阪・関西万博の政府館解体、各国・国際機関の参加・出展の確保等を行う。

※「未来社会の実験場」のコンセプトの下、各予算事業を活用することで、モビリティ、エネルギー・環境、デジタル、ライフサイエンス、宇宙、日本文化発信、中小・スタートアップの魅力発信など、社会課題の解決につながる技術を実証・実装・発信する。

（7）経済社会の基盤を支える最重要課題（福島・能登復興・レジリエンス・物価高対策）

●福島の復興、能登半島地震等からの復旧・復興 【当初470億円（470億円）】 **補正**657億円】

●福島第一原子力発電所の廃炉の安全かつ着実な実施、ALPS処理水処分の安全性確保と風評対策・なりわい継続支援、日本産食品の輸入規制の即時撤廃への働きかけに取り組む。

●帰還困難区域の避難指示解除と事業・なりわい再建、新産業創出、交流人口拡大、芸術文化を通じた復興の推進を図る。

●能登半島地震等からの復旧・復興、被災者の生活・生業の再建に取り組む。

●産業のレジリエンス・安全の向上 【当初128億円（124億円）】 **補正**18億円】

●中小企業・小規模事業者の防災力を高め、事業継続力を強化するBCP策定を促進する。

●人手不足の克服と産業インフラの保安レベルの維持向上の両立に向けたスマート保安技術の導入を進める。

●足元の物価高に対するきめ細かい対応 **補正** 1兆3,518億円】

●物価水準が高止まる中、地方経済や低所得者世帯への即効性のある対策として、ガソリンなどの燃料油の卸価格抑制を通して、小売価格急騰の抑制を図る。

●物価高により厳しい状況にある生活者を支援するため、家庭の電力使用量の最も大きい時期である1月から3月の冬期の電気・ガス代を支援する。

補正 燃料油価格激変緩和対策事業 【1兆324億円】

補正 電気・ガス料金負担軽減支援事業 【3,194億円】

染色整理加工実績推移 (数量・金額・従業者数)

前年比：%

項目	織物						ニット生地				織物・ニット生地合計				従業者数	
	数量 (百万㎡)				金額		数量		金額		数量		金額		(人)	前年比
	長繊維	短繊維	計	前年比	(億円)	前年比	(百万㎡)	前年比	(億円)	前年比	(百万㎡)	前年比	(億円)	前年比		
2015年	768	653	1,421	(99.9)	1,268	100.1	403	97.8	465	97.8	1,824	(99.4)	1,733	99.5	10,162	99.0
2016年	767	648	1,416	99.6	1,251	98.6	401	99.7	460	98.8	1,817	99.6	1,710	98.7	10,321	101.6
2017年	778	643	1,421	100.4	1,242	99.3	400	99.8	448	97.5	1,821	100.2	1,690	98.8	10,076	97.6
2018年	774	628	1,402	98.7	1,233	99.3	411	102.6	455	101.5	1,813	99.6	1,688	99.9	10,196	101.2
2019年	756	605	1,361	97.0	1,217	98.7	402	97.7	442	97.0	1,763	97.2	1,659	98.3	9,985	97.9
2020年	601	567	1,167	85.8	977	80.2	347	86.5	370	83.7	1,514	85.9	1,346	81.2	9,703	97.2
2021年	619	557	1,176	100.8	1,019	104.3	379	109.1	397	107.5	1,555	102.7	1,416	105.2	9,513	98.0
2022年	606	558	1,165	99.0	1,081	106.1	388	102.4	418	105.3	1,552	99.9	1,500	105.9	9,103	95.7
2023年	610	548	1,159	99.5	1,117	103.3	389	100.4	443	105.9	1,548	99.7	1,560	104.0	8,754	96.2
2024年	598	517	1,115	96.3	1,127	100.9	360	92.5	420	94.9	1,476	95.3	1,547	99.2	8,694	99.3
2024年1月	47	37	83	95.2	84	100.7	28	92.1	32	96.3	112	94.4	116	99.4	8,750	97.3
2025年1月	46	40	86	102.9	89	106.6	28	99.7	32	102.3	114	102.1	122	105.4	8,652	98.9
2024年2月	50	43	93	97.5	92	102.0	31	95.1	36	102.2	123	96.9	128	102.0	8,733	97.6
2025年2月	48	42	90	97.6	93	100.6	28	92.6	33	91.3	119	96.3	126	98.0	8,650	99.0
2024年1-2月	96	80	176	96.4	176	101.3	59	93.6	68	99.4	235	95.7	244	100.8	-	-
2025年1-2月	94	82	176	100.1	182	103.5	56	96.0	66	96.4	233	99.1	248	101.5	-	-

(従業者数は1月・2月末)

(注) 2023 (令和5)年以前の数値は、経済産業省 生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編による確定値、2024 (令和6)年、2025 (令和7)年の数値は、生産動態統計月報の累計です。

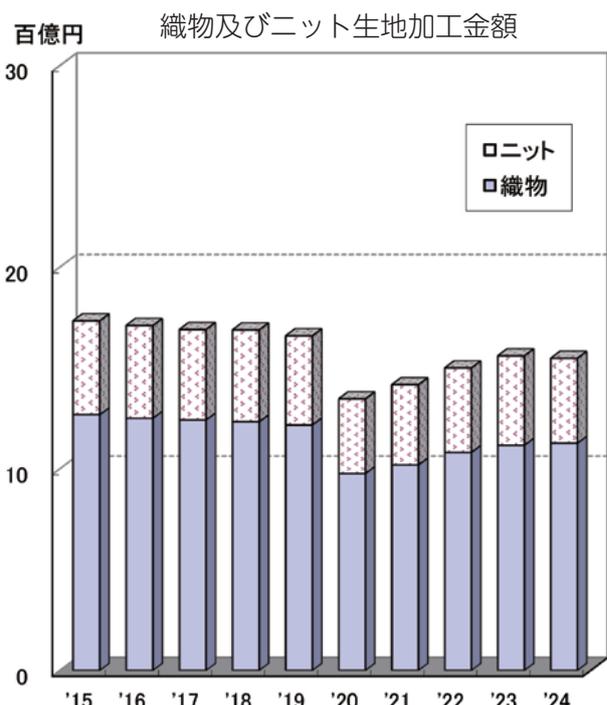
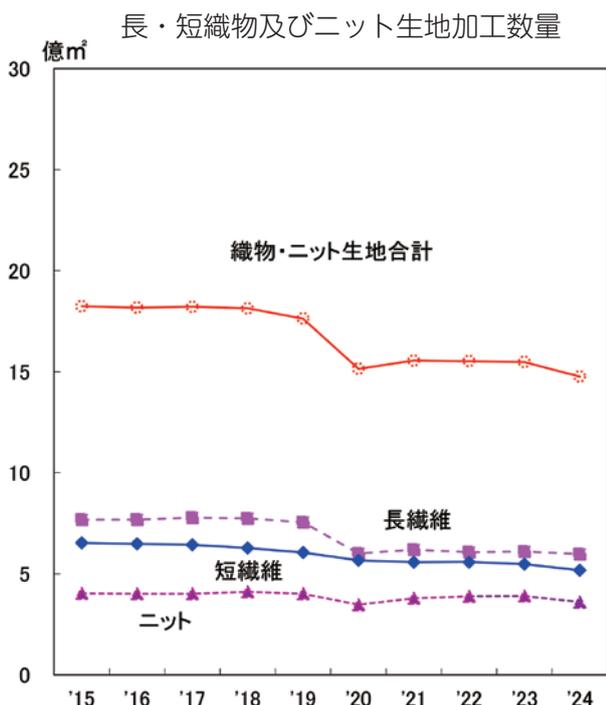
2015 (平成27)年1月に経済産業省 生産動態統計調査が改正され、削除、統合された品目があります。

2015 (平成27)年 削除：織物の「麻織物」、毛布の「毛布」及び「加工金額」

加工数量の前年比の()内の数値は、2015 (平成27)年改正に対応するため、2014 (平成26)年の数値から削除された「麻織物」を差し引いた数値と比較して算出した比率です。

四捨五入により下一桁に誤差の生じる場合があります。

比率は数量千㎡、金額千円単位での計算値。



(注) 2015 (平成27)年に経済産業省 生産動態統計調査が改正され、削除された品目があります。

好獣性菌を利用した【抗かび性試験JIS L 1921】を運用開始 — ペットの健康保護のため“より衛生にこだわった製品”を！ —

犬・猫の皮膚糸状菌としてMicrosporum canis（好獣性菌）は代表的な原因菌種で、感染症全体で見ると、犬が約70%、猫が約99%を占めると言われています。家族同様の大事なペットにとって、厄介な菌種であることは間違いありません。ニッセンケンでは、ペットに“より快適な製品”をお届けできるように、好獣性菌を利用した繊維製品の抗かび性の評価試験を開始しました。試験対象となる繊維製品はペット用の服・マット・おもちゃ・寝具等多岐にわたります。

【好獣性菌とは】

Microsporum canisは動物における真菌症の原因菌（好獣性菌）であり、日常生活の中に存在します。特にまだ幼かったり、高齢だったり、環境の要因で免疫力が低下してしまった犬・猫は感染しやすい傾向にあります。皮膚糸状菌に感染した場合、毛や皮膚の表面に発症します。

治療方法としては、内服薬として抗真菌薬を、そして抗菌作用のある薬用シャンプーを使用し、陰性となるまでしっかりと対処します。また皮膚糸状菌の感染性が強いいため、生活環境中の抜けた毛を徹底的に除去し、寝具や家具等を洗浄や消毒することが重要です。



猫の耳部（イメージ）

【好獣性菌に関する抗かび性試験の概要】

目的	繊維製品の抗かび性を評価
対象製品	ペット用の服、マット、おもちゃ、寝具の繊維製品等
試料	6検体、1検体につき0.2g ± 0.03g
試験方法	試料にかび懸濁液を接種し、接種直後の試験試料3検体のATP量を測定する。接種直後の測定をしない試験試料3検体は25℃ ± 2℃で42 ± 2時間培養
評価方法	抗かび活性値で評価。試験試料と対象試料ATP量を比較することで、どの程度かびの増殖を抑制されたかを示す値で評価する

【ニッセンケンは様々な抗かび性試験を実施しています！】

ニッセンケンでは、微生物に関する様々な規格に対応した試験を行っています。

今回ご案内した、好獣性菌を利用したペット用繊維製品の抗かび効果の評価だけではなく、ペットに関連した様々な製品、プラスチック、ガラス、木竹、屋内や屋外で使用する繊維製品も試験対象ですので、お気軽にお問い合わせください。

【バイオケミカル試験に関する詳細情報をご提供しています】

抗ウイルス・抗菌・抗アレル等のバイオケミカル試験に関する各種詳細資料（PDFファイル）は、こちらからダウンロードできます。

<https://nissenken.or.jp/order/download/>



バイオケミカルグループ 特設サイト

<https://biochemical.nissenken.jp/>



【バイオケミカル試験に関するお問い合わせ先】

最寄りの各事業拠点にお気軽にお問い合わせください。お問い合わせフォームからもお受けしています。

▶ ニッセンケン事業拠点

<https://nissenken.or.jp/outline/locations/>



▶ お問い合わせフォーム

<https://nissenken.or.jp/contact/>



一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（本部）

〒111-0051 東京都台東区蔵前2-16-11 TEL：03-5830-6660 E-mail：pr-contact@nissenken.or.jp

お知らせ

2025年「経済構造実態調査」について

総務省・経済産業省では、2025年6月に「経済構造実態調査」を実施致します。

「経済構造実態調査」は、全ての産業における付加価値等の構造とその変化を明らかにする基幹統計調査であり、その調査結果は、国民経済計算（GDP統計）の精度向上への寄与の他、より正確な景気判断や効果的な行政施策の立案、実施のための基礎資料、企業経営の参考資料などに広く利活用されることを目的としています。これは政府の重要な調査であり、統計法に基づいた報告義務のある基幹統計調査です。

調査をお願いする企業・事業所の皆様には、調査書類を5月から順次郵送致しますので、インターネットにて、ご回答をお願い致します（郵送でご回答頂くこともできます）。

詳しくは、以下のURLをご覧ください。

経済構造実態調査ホームページ <https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

編集後記

私の住む地域では毎週水曜日がプラごみの日だ。いつも45ℓサイズのゴミ袋1袋がパンパンになるぐらいのプラごみが出る。食品トレーや洗剤の容器、ペットボトルのラベル、それ以外にも身の回りには数えきれないほどのプラスチック製品が溢れている。一家庭だけでも1週間でこれだけ出るのだから、全世界ともなればそれはもう大変な量である。

しかし今、このプラスチック問題を小さな生き物が解決しようとしている。その生き物とは「ミールワーム」と呼ばれる鳥類や魚類、爬虫類などの餌として飼育されているゴミムシダマシ科の幼虫だ。なぜこのミールワームがプラスチック問題を解決してくれるのかと言うと、ポリスチレン（発泡スチロール）を食べて分解できる細菌を体内に持っているからである。マイクロプラスチックの健康被害を心配する人間にとっては「体に悪そう」としか思えないのだが、現段階では特にミールワームの体調が悪くなることもなく、生分解して排出された排泄物も農作物にとって安全な物であるようだ。

他にも京都工芸繊維大学が発見したイデオネラ・サカイエンシスというポリエチレンテレフタレート（ペットボトルの原料・PET）を分解する細菌にも期待が寄せられる。このイデオネラ・サカイエンシスについては「PETase」と「MHETase」という2種類の酵素が主にPETを分解する事が解明された。そしてこの研究がアメリカに渡り「FAST-PETase」へと進化する。「FAST-PETase」はPETを50℃未満で分解できる酵素で、約50種類のPET製品のほぼすべてを1週間以内に分解した。

このミールワームやイデオネラ・サカイエンシスなどの細菌によるプラスチック分解技術は、環境負荷の大きいプラスチック処理問題を解決する大きな糸口となるだろう。

生分解性プラスチックのように最終的に水と二酸化炭素に分解されるプラスチックの開発なども進んでいるが、まだまだ分解できない物が大半を占めている。生分解性プラスチックの開発と平行して、細菌によるプラスチック分解技術も早急に進展してくれる事を願う。そしていずれプラスチックを分解処理してくれるゴミ箱が各家庭に導入される未来を楽しみにしたい。

(E-mail address : gyoumu.osk@nissenkyo.or.jp)

一般社団法人日本染色協会 編集部

主要行事 令和7年3月・4月

日本染色協会

- 第2回 企画委員会
3月14日 於 Web会議
- 技術・環境見学会
3月26日 於 (株)TLV加古川本社
- 第4回 技術・環境対策委員会
3月26日 於 書面報告
- 第4回 理事会
3月28日 於 綿業会館

経済産業省

- 第14回 産業構造審議会繊維産業小委員会
3月19日 於 経済産業省
- 第12回 繊維産業技能実習事業協議会
3月21日 於 経済産業省

日本繊維産業連盟

- 幹事会 3月12日 於 Web会議

繊維産業流通構造改革推進協議会

- 臨時理事会・臨時総会
4月16日 於 TFTビル

全国短繊維織物無地染工業組合

- 第4回 企画・情報委員会
3月11日 於 コンファレンスプラザ大阪御堂筋

日本経編整染工業組合

- 第1回 企画委員会、第4回 調査情報委員会
3月24日 於 コンファレンスプラザ大阪御堂筋

日本繊維機械学会

- テキスタイルカレッジ運営委員会
4月11日 於 大阪科学技術センター

繊維学会

- 学会誌編集委員会
4月21日 於 リモート



興和江守株式会社

福井市毛矢1-6-23 TEL.0776-36-1133

1906年創業の
商社です。



染協ニュース 2025年5-6月号 Vol.354
令和7年5月21日発行

発行／一般社団法人 日本染色協会
JAPAN TEXTILE FINISHERS' ASSOCIATION.
URL <http://www.nissenkyo.or.jp/>

無断転載厳禁

東京事務所 〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目15番2号
神田オーシャンビル2階
TEL 03(5577)6876 FAX 03(5577)6877

大阪事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町三丁目4番9号
輸出繊維会館7階
TEL 06(4963)2315 FAX 06(4963)2319

いいものは、きもちいい。
 ———— こだわりの品質、ジャパン・コットン。



綿100%
 「ピュア・コットン・マーク」



Pure Cotton

綿混率50%以上
 「コットン・ブレンド・マーク」



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。
 ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。

日本紡績協会 <http://www.jsa-jp.org/>



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂をカーボンオフセット済
- CO₂排出量：1,811g/部
- この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。